



新しいことへの挑戦を

校長 新家子 直之



明けましておめでとうございます

2020年、令和の元号になって二年目がスタートしました。保護者・地域の皆様におかれましては、穏やかに一年の始まりをお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

今年は『子』の年。ねずみは子どもをたくさん作ることから「繁栄」の象徴であるそうです。また、植物でいうと、種子の中に新しい生命が萌し始める状態を表しているようで、何か新しいことに挑戦するのに適している年になるようです。

本校の子どもたちも、明確で具体的な目標を立て、自分が得意なことにも、苦手になっていることにも積極的にチャレンジしてほしいと思います。

今年は、社会的にも大きな変化の年になりそうですね。何ととっても日本では東京オリンピックが開かれます。

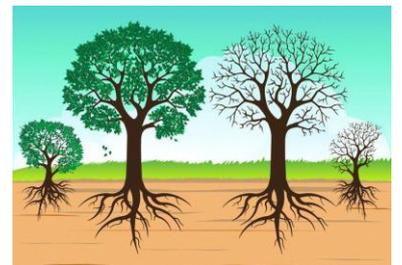
前回、1964年の東京大会では、オリンピックが日本の高度成長の足掛かりにもなったようですので、今回もまた、我が国の大きな発展の契機になることを期待していますし、参加した全ての国の人々が力を合わせ、平和な世界を作っていくことに繋がる祭典になることを願うばかりです。

教育に関する大きな変化としては、10年振りに改訂された新学習指導要領の全面実施があります。

今回の改訂は、子どもたちがグローバル化や急速な情報化、人工知能(AI)の進化等、変化の激しい時代に対応できる能力を身に付けていくことに主眼が置かれ、「言語能力の育成」「外国語教育」「プログラミング教育」「理数教育の充実」「道徳教育」「伝統文化に関する教育」「主権者教育」「消費者教育」などが内容に盛り込まれています。

私たち学校側もこれを受けて、教育課程をこれまでと変えていかなければなりません。子どもたち一人一人に確かな生きる力をつけるために、何をどうしていけばよいのか、よく話し合い、検討していきたいと思います。

干支の話にもどりますと、ねずみという語源は、植物の根(ね)のところに穴を掘って住むことから根住み(ねずみ)になったという説があるそうですが、私たち教職員も、変化はあっても大切な根の部分は見失わないようにしながら、教育活動を進めて参りますので、どうかご理解をいただけますよう、本年もよろしくお願いたします。



～ お知らせ ～

○冬休み号でも、お知らせしましたが、22日(水)の学校公開日に、新しい教育課程についての説明会を開きます。

時間	10:20~10:40	場所	4F視聴覚室
----	-------------	----	--------

です。